

福島第一原子力発電所の状況

平成 27 年 2 月 19 日
東京電力株式会社

< 1. 原子炉および原子炉格納容器の状況 > (2/19 11:00 時点)

号機	注水状況		原子炉压力容器 下部温度	原子炉格納容器 圧力	原子炉格納容器 水素濃度
1号機	淡水 注入中	炉心ブレイ系：約 1.9 m ³ /h	15.1	4.1 kPa g	A系： 0.02 vol%
		給水系：約 2.3 m ³ /h			B系： 0.04 vol%
2号機	淡水 注入中	炉心ブレイ系：約 2.4 m ³ /h	20.0	4.86 kPa g	A系： 0.04 vol%
		給水系：約 2.0 m ³ /h			B系： 0.02 vol%
3号機	淡水 注入中	炉心ブレイ系：約 2.5 m ³ /h	18.0	0.20 kPa g	A系： 0.06 vol%
		給水系：約 1.8 m ³ /h			B系： 0.05 vol%

< 2. 使用済燃料プールの状況 > (2/19 11:00 時点)

号機	冷却方法	冷却状況	使用済燃料プール水温度
1号機	循環冷却システム	運転中	11.0
2号機	循環冷却システム	運転中	24.9
3号機	循環冷却システム	運転中	19.1
4号機	循環冷却システム	運転中	6.3

各号機使用済燃料プールおよび原子炉ウェルヘビドラジンの注入を適宜実施。

[6号機]

・H27/2/18 9:44 ~ 原子炉建屋6階燃料プール冷却浄化系(以下、FPC系)の弁付近からの漏えい(H26/7/11 発生)については、現在、漏えい箇所である当該弁キャップ部に止水処置を実施し、FPC系によるプール冷却を継続しているが、漏えいがあったFPC系プール入口弁(G41-F042B)(以下、当該弁)の分解点検を開始。(作業予定時間:24時間)

分解点検は、FPC系を停止して実施するが、当該弁は使用済燃料プールの通常水位以下に設置された弁であること、また点検のため隔離する弁がないことから、点検可能な位置までプール水位を低下させてから作業を実施する。

このため、特定原子力施設に係る実施計画「特定原子炉施設の保安」(以下、「実施計画」)第2編第55条の表55-1で定める「使用済燃料プールの水位」の運転上の制限「オーバーフロー水位付近にあること」を満足出来ない状態となることから、実施計画第2編第74条第1項(予防保全を目的とした保全作業を実施する場合)を適用し、計画的に運転上の制限外に移行し、点検を実施する。

なお、6号機プール水温度については、2/17 16:00 現在で 17.5 であり、2/18 時点の冷却系停止時のプール水温度上昇率は 0.273 /h で、プール水温上昇は最大で約 7 と評価。よって、運転上の制限値 65 に対して余裕があり、プール水温度の管理上の問題は無い。また、点検作業期間中は、プール水温度および水位を常時監視しながら作業を実施する。

点検の結果、弁各部に異常はなく、弁下部のキャップ取合部からのにじみであることを確認。このことから、弁各部の手入れおよび消耗品等の交換を実施し、復旧。その後、使用済燃料プール水位を回復させ、使用済燃料プール水位が運転上の制限である「オーバーフロー水位付近」に達したことを確認した上で、2/19 2:05 に当該系を起動し、運転状態および分解点検を実施した当該弁に漏えい等の異常がないことを確認。当該弁の点検作業および当該系の復旧が完了したことから、2/19 3:05、実施計画第2編第74条第1項(予防保全を目的とした保全作業を実施する場合)の適用を解除。なお、使用済燃料プール水温度は2/19 3:00 現在で 19.9 であり、運転上の制限値(65)に対して余裕があり、使用済燃料プール水温度の管理上問題はなかった。

< 3. タービン建屋地下等のたまり水の移送状況 >

号機	排出元	移送先	移送状況
2号機	2号機タービン建屋	集中廃棄物処理施設(高温焼却炉建屋)	2/17 10:57 ~ 2/19 10:11 移送実施
3号機	3号機タービン建屋	集中廃棄物処理施設(プロセス主建屋)	2/9 10:41 ~ 移送実施中

< 4. 水処理設備および貯蔵設備の状況 > (2/19 11:00 時点)

設備	セシウム吸着装置	第二セシウム吸着装置(サリー)	淡水化装置(逆浸透膜)	淡水化装置(蒸発濃縮)	多核種除去設備(ALPS)	増設多核種除去設備	高性能多核種除去設備
運転状況	運転中*1	運転中*1	水バランスをみて断続運転	水バランスをみて断続運転	ホット試験中*2	ホット試験中*2	ホット試験中*2

*1 フィルタの洗浄、ベッセル交換を適宜実施。

*2 高性能容器(HIC)交換等を適宜実施。

- ・タンクに貯留しているRO濃縮水を浄化するため、明日(2/20)以降、準備が出来次第、第二モバイル型ストロンチウム除去装置の処理運転を開始予定。

< 5. その他 >

- ・H27/2/5 10:00 ~ 3号機海水配管トレンチの閉塞を目的とした閉塞材料の充填作業を開始。なお、閉塞材料の充填作業により、当該トレンチの水位上昇が予測されることから、福島第一原子力発電所特定原子力施設に係る実施計画に定められている、運転上の制限(OP+3.5m)を超えないよう管理し、当該トレンチ内の滞留水を必要に応じて3号機タービン建屋(3号機タービン建屋の滞留水の状況により、2号機タービン建屋または4号機タービン建屋)へ断続的に移送。
- H27/2/14 ~ 4号機海水配管トレンチの閉塞を目的とした閉塞材料の充填作業を開始。また、グラウト充填工事により、当該トレンチの水位上昇が予測されることから、当該トレンチ内の滞留水を必要に応じて4号機タービン建屋に断続的に移送する。
- H27/2/18 2号機海水配管トレンチ立坑Aにて、立坑上部の配管ダクトに設けたグラウト充填管の貫通部より、雨水が流入して水位が上昇したことから、2号機タービン建屋へ滞留水の移送を実施。雨水の流入箇所については、今後、流入防止措置を行うこととし、それまでの間、立坑Aに溜まった水については、適宜、2号機タービン建屋へ移送を行う。
- ・H26/3/14 13:35 ~ 共用プール西側において、陸側遮水壁の実証試験(凍結試験)を開始。
6/2 ~ 陸側遮水壁工事を開始。
10/3 ~ 陸側遮水壁造成工事における凍結管設置に伴い、埋設物(トレンチ等)を貫通させて凍結管を設置する箇所を対象に、事前の溜まり水調査を開始。

【地下水バイパス揚水井の状況】

- ・地下水バイパス揚水井 No.1 ~ 12 のサンプリングを継続実施中。

【H4, H6エリアタンク周辺観測孔(周辺排水路含む)の状況、タンクパトロール結果関連】

< H4エリア周辺のサンプリング実績 >

- ・2/18 に採取した、切替C排水路 35m盤出口(C-2-1)の分析結果において、セシウム 137 の値が 22 Bq/L と前回値(2/17 採取分: 検出限界値未満(検出限界値: 1.9 Bq/L))と比較して、10 倍以上の上昇を確認。上昇した原因については、B排水路上流で排水路の清掃を実施していることから、この影響によるものと推定。
なお、今回のC-2-1の分析結果は、付け替え前のC排水路 35m盤出口(C-2)におけるセシウム 137 の値の変動の範囲内(最高値: 130Bq/L)である。
- ・その他の分析結果については、前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

< 福島第一構内排水路・南放水口のサンプリング実績 >

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

< H6エリア周辺のサンプリング実績 >

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

【タービン建屋東側の地下水調査 / 対策工事の実施状況】

< 地下水観測孔サンプリング実績 >

- ・ 前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

【地下貯水槽からの漏えいに関する情報および作業実績】

< 地下貯水槽サンプリング実績 >

- ・ 前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

以上